



さくらんぼだよ



10月号

令和7年10月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリーこども園

親子のふれ合いを大切に！
“まつり”を通して子どもたちの成長を感じよう！

9月半ばを過ぎててもまだ暑い日が続き、いったいいつまでこの暑さなのだろうか…と思っていましたが、この頃はようやく、朝夕の吹く風に秋を感じられるようになってきました。

子どもたちの食欲を満たしてくれていた畑の夏野菜やブラックベリーなどは食べつくし、今は冬野菜への準備が進められています。園庭で食べるものがなくなるこの時期、子どもたちは小川の側にある柿やキウイの木を眺めては、食べごろになるのを今か今かと待っています。また、子どもたちが園庭で真っ先に向かうのは栗の木です。パカッと割れたイガの中に大きな栗が入っているのを見つけると、喜んで事務室まで持ってきてくれて「栗ご飯が食べられるかな～」と話す子どもたち。しかし、今年は夏の暑さの影響か、実がぎっしり詰まっている栗が少なく、栗ご飯にして食べるほどの数は収穫できずにいました。ところが数日後、何とA先生のおばあちゃんのお宅からたくさんの栗をいただけたのです！「やったー！これで栗ご飯が食べられる！」と喜び、職員で包丁や栗の皮むき器“くりくり坊主”を使いながら皮をむき、給食室で栗ご飯を作ってもらいました。甘い栗がごろっと入った栗ご飯に子どもたちも「おいしい！」と大喜びで秋の味覚を満喫できました。

また、風で落ちてきた“リンゴ”を大事そうに持ってきたスイミー組の子どもたち。色づくまでもう少しかなと思っていましたが荒馬を踊った後に食べてみると、シャリシャリとした食感と甘さに「おいしい！」「もっと食べたい！」と大喜びでした。まだ実っている残りのリンゴも、子どもたちと大事に味わっていきたいと思います。

いよいよ、10月4日(土)は、のはらまつりです。

先日、保護者の実行委員会も終わり、準備も大詰めとなりました。のはらまつりでは、東日本大震災以降、毎年、仙台風の会の皆様のご協力のもと、子どもたちの幸せや健やかな成長を願い、クラスごとの連風を揚げています。今年も平和の象徴である“風”を青空に揚げながら、テーマ「つながる」のもと、西多賀チェリーこども園らしい“のはらまつり”となりますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

2025. 10. 1 園長 佐藤 真里枝

おしらせ



<内科健診>

10月16日(木)午後3時より、園医の松本先生による内科健診があります。当日お休みの場合は、後日松本小児科の方に保護者の方と一緒に行って頂くようになりますので、なるべく欠席をしないようにお願いします。

<芋煮会・球根植え>(3歳～5歳クラス)

日時 10月22日(水) 9:30～12:30

世代間交流として、おじいちゃん、おばあちゃん達と一緒に豚汁を作って食べたり、来年の春に咲く花の球根を子どもたちと一緒に植えたいと思います。詳細は、後日お知らせいたします。

おねがい



* 季節の変わり目は、特に体調を崩す姿が多くなり、感染症等も出始めます。手洗い、うがい、換気など、基本的な感染予防を丁寧に行いながら、お子さんの体調がいつもと違う時には、ゆっくり過ごしたり、早めにかかりつけ医に相談や受診をしてください。

行事予定

10月

4	土	のはらまつり
7	火	布団丸洗い
10	金	発育測定
16	木	内科健診15時～
17	金	のはらまつり反省会
21	火	誕生会
22	水	芋煮会
28	火	総合避難訓練

11月

1	土	おはなしの広場まつり
11	火	避難訓練
13	木	歯科健診(9:30～)
14	金	発育測定
18	火	誕生会
19	水	焼き芋会
21	金	お話の広場まつり 実行委員反省会



のはらまつりは、「自然とのふれ合いの中で、親子で身体を動かして楽しく遊ぶ」をねらいとしながら、「つながる」のテーマのもと行われます。子どもたちは、先月から何度も三神峯公園へ散歩へ行き、広い野原で思いっきり走ったり、探索をしたり、荒馬を踊ったりして楽しんでいます。そしてのはらまつりでは、どのクラスも親子のふれ合いや子ども同士のふれ合い、親同士のふれ合いなど、“つながる”を意識した内容となっています。ふれ合い遊びは、①心の安定(情緒的な発達)、②愛情ホルモン“オキシトシン”が分泌され親子の愛情が深まる、③感覚機能の成長(運動機能の向上)、④共感や思いやりの気持ちが育まれ、社会性が向上するなど、様々な効果があり、子どもたちの心身の発達を促進し、安心感や愛着関係を育むとされています。

ぜひ、のはらまつりでも、こども園の教育・保育で大切にしている“人や自然とのふれあい”を、親子で感じてほしいです。そして、園の行事だからこそ、普段はあまり顔を合わせることでできない保護者の方々と交流が深まり、保護者同士の“つながり”が強まってほしいなと思っています。

子どもも大人も愛情ホルモンに包まれて、幸せいっぱいな“のはらまつり”となりますように！



母と子の 絵本 棚

「おんなじ おんなじ」

出版社 こぐま社

さく 多田ヒロシ

ぶうとぴょんは、とっても仲良し。何とこの二人、靴も帽子も洋服も同じなのです。絵本の中で繰り返される「おんなじ」のフレーズが何とも愉快で子どもたちに人気の一冊です。ぜひ、親子で楽しんでください。



「かぼちゃばたけのはたねずみ」

出版社 福音館書店

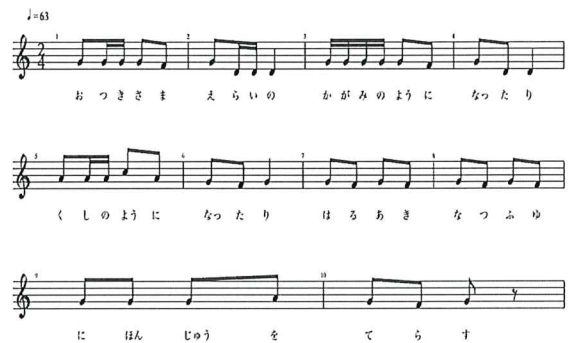
さく・え 木村 晃彦

はたねずみの家族は、畑の中にあるかぼちゃをうちにします。家族みんなで協力して、どんどん部屋が増えて、最後は、とっても素敵なおうちになります。ねずみのお母さんが作るかぼちゃ料理もおいしそうで楽しめる絵本です。



わらべうたであそぼう

♪おつきさま♪



10月6日は「十五夜」です。親子で月を眺めながらロズさんでみてください。



版画

「のはらうた」くどう なおこ作

